

製品安全データシート

1. 化学物質及び会社情報

会社名 : 株式会社 リブライト
住所 : 愛知県名古屋市昭和区小坂町2-2-4
電話番号 : 052-732-8151
FAX番号 : 052-732-8150
緊急連絡先 : 担当部門に同じ
作成日 : 令和1年7月2日
製品名 : LL オレンジクリーナー (クリーンワン®)

2. 危険有害性の要約

GHS分類

【対象物質】

グリコール系溶剤
モノイソプロパノールアミン

【健康有害性】

皮膚腐食性・刺激性	区分3
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分2
呼吸器感作性	区分外
皮膚感作性	区分外
生殖細胞変異原性	区分外
生殖毒性	
・単回暴露	分類できない
・反復暴露	分類できない

【環境有害性】

水生環境有害性	
・急性	該当せず
・慢性	該当せず

【ハザード・シンボル】



【注意喚起語】

危険

【危険有害性情報】

皮膚刺激
アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれ
重篤な眼の損傷
吸入するとアレルギー、喘息または呼吸困難を起こすおそれ
遺伝性疾患のおそれ
生殖能または胎児への悪影響のおそれ
臓器（肝臓、視覚器、神経系、腎臓、全身毒性、中枢神経系）の障害のおそれ
長期または反復暴露による臓器（肝臓、呼吸器、視覚器、消化管、神経系、腎臓、精巣、中枢神経系）の障害のおそれ
水生生物に有害
長期的影響により水生生物に有害

【注意書き】

<予防策>

必要に応じて个人防护具を着用すること
必要なとき以外は環境への放出を避けること

この製品を使用するときには飲食または喫煙をしないこと
使用前に取扱説明書を入手すること
すべての安全注意を読み、理解するまで取扱わないこと
換気が十分でないときは呼吸用防護具を着用すること
取扱い後は手をよく洗うこと
粉塵、ヒューム、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと

<対応>

吸入したとき : 呼吸が困難などときには、空気の新鮮な場所に移動し呼吸しやすい姿勢で休息する
呼吸に関する症状が出たときには医師に相談する
暴露または暴露の懸念があるとき : 気分が悪いときは医師の診断・手当を受ける
皮膚に付着したとき : 多量の水と石鹸で洗う
皮膚刺激または発疹が生じたときは医師の診断・手当を受ける
眼に入ったとき : 水で数分間注意深く洗う
コンタクトレンズを着用していて容易に外せるときは外して、洗淨を続ける
刺激が残るときは医師に相談する

<保管>

施錠して保管すること。

<廃棄>

内容物／容器を都道府県／市町村の規則に従って廃棄すること

その他の情報

分類の名称 : 該当しない

危険性 : 該当しない

有害性 : 眼に対して刺激性があり、長時間皮膚に接触すると、肌荒れを起こすことがある。

3. 組成及び成分情報

単一・混合物の区別 : 混合物

主成分 : 界面活性剤 (ヤシ油脂肪酸石ケン)
モノイソプロパノールアミン
グリコール系溶剤
オレンジオイル
その他

4. 応急措置

眼に入った場合 : 清浄な水で最低 15 分間洗淨したのち、異常があれば医師の診断・手当を受ける

飲み込んだ場合 : すぐにコップ 1～2 杯の牛乳または水、あるいは生卵を飲ませる

※吐物や泡が気管に入ると肺炎をおこす可能性があるため無理に吐かせない

自然に嘔吐が生じたときは、吐物を吸入しないよう注意する

嘔吐や下痢症状が激しいときは医師に相談する

5. 火災時の措置

本製品は不燃性であるが、加熱した場合、着火源があると燃えることがある

消火方法 : 消火作業の際は適切な保護具を着用して風上から行い、周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する 必要に応じて呼吸用保護具も着用する

初期の火災 : 水、または粉末、泡沫、炭酸ガス消火器が有効である

大規模火災 : 大型泡沫消火器が有効である

周辺火災 : 容器は可能な限り安全な場所へ移動する

消火剤 : 水、粉末、泡沫、炭酸ガス

6. 漏出時の措置

漏洩した場所周辺にロープを張るなどして人の出入りを禁止する

必ず保護具を着用して、風下からは作業をしない

少量の時は布巾などで拭き取り、大量に流出したときは回収して適当な容器に入れる

7. 取り扱い及び保管上の注意

- 取扱い上の注意 : 眼、皮膚及び衣類等に付着しないよう、また、吸引しないように保護具を着用する
容器は手荒な扱いをせず、内容物の漏洩を防止する
- 保管上の注意 : 直射日光を避け、風通しの良い室内に密栓して保管する
- 詰め替え等の作業時 : 眼に入らないよう適切な保護具を着用し、容器が破損しないよう丁寧に扱う

8. 暴露防止及び人に対する保護措置

許容濃度

日本産業衛生学会勧告値 : なし

労働省告示の管理濃度 : なし

ACGIH勧告値 : なし

防止対策

設備対策 : 取り扱い場所の近くに水洗・洗眼装置を設置することが望ましい

保護具 : 作業着、安全靴、ゴーグル型保護メガネ及びゴム製保護手袋を着用すること
必要に応じて顔面シールド、ゴム長靴及びミスト防止マスクを着用すること

9. 物理的及び化学的性質

外観	: 淡黄緑色透明液体
臭い	: 香料臭
pH	: 10.0～10.8 (25℃、原液)
融点・凝固点	: データなし
沸点、初留点及び沸点範囲	: データなし
引火点	: データなし
燃焼または爆発範囲の上限・下限	: データなし
蒸気圧	: データなし
蒸気密度	: データなし
比重 (相対密度)	: データなし
溶解度	: データなし (水に無限に溶解する)
n-オクタノール/水分配係数	: データなし
自然発火温度	: データなし
分解温度	: データなし

10. 安定性及び反応性

可燃性 : 消防法に該当しないが、加熱などにより着火源があると燃える

発火性 : 通常の状態ではなし

安定性・反応性 : 通常の状態では光、熱、衝撃に対して化学的に安定

11. 有害性情報

GHS分類

当該製品のデータがないため、モノイソプロパノールアミン、グリコール系溶剤の混合物としてGHS分類した

皮膚腐食性・刺激性	: 加算式判定の結果、区分3とした 皮膚刺激
眼に対する重篤な損傷・刺激性	: 加算式判定の結果、区分2とした 重篤な眼の損傷のおそれ
呼吸器感作性	: 区分外 吸入するとアレルギー、喘息または呼吸困難をおこすおそれ
皮膚感作性	: 区分外 アレルギー性皮膚反応をおこすおそれ
生殖細胞変異原性	: 区分外

生殖毒性 : データなし

特定標的臓器／全身毒性

単回暴露 : カットオフ値判定の結果、区分2（肝臓、視覚器、神経系、腎臓、全身毒性、中枢神経系）とした

臓器（肝臓、視覚器、神経系、腎臓、全身毒性、中枢神経系）の障害のおそれ

反復暴露 : カットオフ値判定の結果、区分2（肝臓、呼吸器、視覚器、消化管、神経系、腎臓、精巣、中枢神経系）とした

長期または反復暴露による臓器（肝臓、呼吸器、視覚器、消化管、神経系、腎臓、精巣、中枢神経系）の障害のおそれ

その他の情報

急性毒性 : データなし

皮膚腐食性・刺激性 : データなし

眼に対する重篤な損傷・刺激性 : データなし

呼吸器感作性・または皮膚感作性 : データなし

生殖細胞変異原性 : データなし

発がん性 : データなし

生殖毒性 : データなし

特定標的臓器／全身毒性

単回暴露 : データなし

反復暴露 : データなし

吸引性呼吸器有害性 : データなし

1 2. 環境影響情報

GHS分類

当該製品のデータがないため、モノイソプロパノールアミン、グリコール系溶剤の混合物としてGHS分類した

水生環境急性有毒性 : 区分外
水生生物に有害のおそれ

水生環境慢性有毒性 : 区分外
長期的影響により水生生物に有害のおそれ

その他の情報

漏洩、廃棄等の際には、環境に影響を与えることがある。特に製品や洗浄水が地面、川、排水溝に直接流れ込まないようにする。

起こりうる環境影響・生殖毒性 : データなし

残留性・分解性 : データなし

生物蓄積性 : データなし

土壌中の移動性 : データなし

1 3. 廃棄上の注意

廃薬品、容器等の処理は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約して処理すること
廃水処理、焼却等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法規に従って処理を行うか、委託すること

焼却処理をする場合には、珪藻土、布等に吸着させて開放型の焼却炉で少量ずつ焼却すること
界面活性剤を含有するので、排水処理をするときには凝集沈殿、活性汚泥等の廃水処理によって法律および関係する法規の規制値以下にして河川放流すること

1 4. 輸送上の注意

取扱い・保管上の注意の項の記載によるほか、一般的注意事項に従う

容器に漏れがないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込む また、輸送中に互いに衝突して破損することがないように、予め適当な緩衝剤を詰める等の処置をして荷崩れ防止を確実に行う

陸上輸送 : 該当するそれぞれの法規に定められている運送法に従う

海上輸送 : 船舶安全法に従う
航空輸送 : 航空法に従う
国連番号 : 該当なし

15. 適用法令

消防法 : 該当せず
労働安全衛生法 : 該当せず
水質汚濁防止法 : 施行令 (排出基準) BOD, COD
毒物・劇物取締法 : 該当せず
PRTR法 : 該当せず
化審法 : 該当せず
船舶安全法 : 該当せず

16. その他の情報

参考文献

14303の化学商品 化学日報社
GHS分類結果 データベース NITE (独立行政法人 製品評価技術基盤機構) HP
改訂履歴

記載内容の取扱い

この情報は新しい知見及び試験等により改正されることがあります。

本文章の記載内容は当社の最新・最善の知見に基づくものですが、情報の正確さ、安全性を保障するものではありません。

すべての化学品には未知の有毒性があり得るため取扱いには細心の注意が必要です。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであり、特殊な取扱いの場合には用途用法に適した安全対策を実施してください。ご利用者各位の責任において安全な使用条件を設定されるようお願いいたします。

記載された物性値、含有率などは製品の一般的な値を示したもので、規格値、保証値ではありません。